

池田 剛士

宛先: 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会
件名: お願い（みと・あかつかカンファレンス）*メディア対策室；安倍晋三 首相案件（刑事・民事責任追求）【メディア詐欺；共謀罪通報対象】#公益取り消し事由

公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会 御中

学術秘書
池田です。

記事の修正又は削除をお願いいたします。

■粘液分泌を活性化作用のある成分の評価と食品への応用

[補足説明]

・ムチンが粘膜強化に役立つという情報は容易に確認されるが、ヒトを対象にした効果を証明する情報を確認するのは難しい。

・ムチンは、山芋、オクラ、モロヘイヤなどに多く含まれる。

<https://www.jataff.jp/project/download/pdf/20160328.pdf#page=57>

・コラーゲンは豚足、鶏皮、牛筋肉などに多く含まれ、植物系素材には含まれない。コンドロイチン、グルコサミンは植物系素材の中では、オクラ、山芋、納豆などに比較的豊富に含まれる。

<https://www.jataff.jp/project/download/pdf/20160328.pdf#page=65>

修正又は削除が必要な記事の一覧、Google キャッシュ検索の結果（site:jataff.jp ムチン）も併せてご確認ください。

<https://www.google.co.jp/search?q=site%3Ajataff.jp+%E3%83%A0%E3%83%81%E3%83%B3&oq=site%3Ajataff.jp+%E3%83%A0%E3%83%81%E3%83%B3&aqs=chrome..69i57j69i58.4871j0j4&sourceid=chrome&ie=UTF-8>

修正の際のポイントは、3つあります。

(1) 「ムチン」という言葉を使うこと自体が誤り。

(「植物」の話をしていて、「ムチン」について語ること自体ナンセンスです。)

(2) 「ムチン」と関連付けて語られてきた、夏バテ解消、スタミナ食材、疲労回復といった健康効果も全く根拠なし。

(「健康効果」は、ヒトや動物から分泌される「ムチン」本来の働きから想像された話であって、食べてどうこうの話ではありません。)

(3) 「ネバネバの正体は『ムチン』」も誤り。

(「ムチン」は「糖たんぱく質」といわれますが、「植物の『糖たんぱく質』」はネバネバしていません。)

「(日本国内だけで) 植物の粘性物質をムチンと呼ぶことの根拠や起源」が判明いたしました。
 (『mucin』と『mucus』の混同) ないし「『mucus』の誤訳」、
 『mucin』と『mucilage』の混同) ないし「『mucilage』の誤訳」が誤報の原因でした。
 つまり、動植物の粘性物質をムチンと呼ぶ「学説」は存在しません。

<http://acsec.jp/mucin.html>

)

“フィッシャーの呪い撲滅キャンペーン”へのご理解、ご協力をお願いいたします。

<http://acsec.jp/maffgo.html>

全国の都道府県庁、自治体の対応状況については、こちらでご確認いただけます。

<http://acsec.jp/soumugo.html>

※参考：

[1]平成の大獄 (へいせいのたいごく) | 改元の礼：

大戸屋ホールディングスらによる公益通報者 看護師 中西京子さん襲撃事件

<http://heisei.nokyoko.jp/>

[2]虎の門外の変 | 家来たちは、子どもを殺した。：

岡本薫明 財務事務次官らによる公益通報者 看護師 中西京子さんに対するパワーハラスメント

<http://toranomon.nokyoko.jp/>

[3]和とは愛 オフィシャルサイト | 希望：

ムチンは (糖の) 老廃物

<http://nokyoko.jp/#hope>

では。

この件に関するお問い合わせ先：

みと・あかつかカンファレンス事務局長

ラクトース研究班「いもいち 2025」班長代理

有限会社学術秘書

本店営業部

池田剛士

〒311-4141

茨城県水戸市赤塚 1-386-1-107

電話：029-254-7189

携帯：090-4134-7927